令和5年度

短歌・俳句・川柳　投稿ポスト　優秀作品

《 短歌の部 》　選者　木村　健悦・山下　敬子

特選

凛と立つ枝垂桜の重々し石垣を越えまだ伸びむとす　中原　政人　千葉県

散る桜堀に浮かんだ花筏ゆるり揺らして鯉が過ぎゆく　黒飛　義竹　広島県

裏鬼門禅林街の護りあり直ぐき心の杉の並木よ　有吉　一行　岡山県

入選

堀にかかるしだれ桜を眺めつつ追手門より城内に入る　千田　正平　岩手県

弘前の裸婦像を目に焼き付ける積もった雪をレフ板にして　志村　紀昭　愛知県

藤村の「初恋」少女の面影を弘前りんごの果樹園に想う　寺尾　隆政　広島県

夜桜のトンネルくぐり見上げるは月のしずくと舞う花吹雪　宮川　美子　弘前市

振り向けば金木犀の匂い立ち武家屋敷から鳥が飛び立つ　佐藤　博　東京都

《 俳句の部 》　選者　大瀬　響史・桜庭　門九

特選

おしゃべりも熱を帯び行くストーブ列車　水野　綾子　愛知県

春の風うけてアップルパイの街　川口　裕子　山梨県

弘前に生きる証や雪を掻く　木村　隆夫　埼玉県

入選

花疲れ津軽訛りと中国語　小野　智輔　大分県

剪定の脚立の向かう津軽富士　金子　友晴　長野県

かんじきの大股開き地吹雪だ　北谷　匠　京都府

葉桜や一人ベンチでアイス食ふ　佐藤　公　北海道

りんごさんしあわせはこぶあかいいろ　鎌田　陽愛　東京都

《 川柳の部 》　選者　福士　慕情・千島　鉄男

特選

宿の子に教わる雪の歩き方　近江　菫花　滋賀県

目に桜心に歴史手にりんご　笹川　勇　東京都

女房もリンゴもひとつ芯が有る　中野　弘樹　埼玉県

入選

凍らせて渡ってみたい花筏　千田　康司　宮城県

人優しストーブ列車するめ焼く　川坂　雄行　大阪府

りんご好きりんごが好きな人が好き　東　明彦　大阪府

火酒酌む何処かに三味の音がする　金子　友晴　長野県

サンふじが届く荷札に母の文字　杉本　湘路　神奈川県